



フォード、ベッドロック、ボッシュが、駐車を容易にする高度自動運転車両技術のデモンストレーションをデトロイトで開始

2020年8月26日

PI 11198 BBM

- ▶ フォード・エスケープの研究車両を活用し、米国初となるインフラ協調の高度自動バレーパーキングソリューションのデモンストレーションを開始
- ▶ ベッドロックの「アセンブリー・ガレージ」に組み込まれた高性能なインフラ協調の各種センサーを使用し、ガレージ内で車両が自動で運転、駐車
- ▶ ドライバーには駐車スペースを探すストレスの軽減を、ガレージ事業者と居住者にはガレージの収容能力の拡大と駐車車両へのサービスを提供

デトロイト – 自動車の運転を楽しむ一方で、駐車を苦手とするドライバーも存在します。それならば、駐車を自動車に委ねてはいかがでしょうか？

フォード・モーター、ベッドロック、ボッシュは、ネットワーク化されたフォード・エスケープのテスト車両を用いたデモンストレーションプロジェクトを開始しました。デトロイトにあるベッドロックの「アセンブリー・ガレージ」内においてボッシュのスマートなインフラシステムを活用し、テスト車両が自動で運転、駐車を行うというものです。これは、駐車場内で車両が自動駐車する自動バレーパーキング向けの、米国初となるインフラ協調のソリューションです。

デモンストレーションは、ミシガン・セントラル駅を主体とする、フォードの新モビリティノベーション拠点となるコークタウン地区で行われます。この地区には、世界中からモビリティイノベーターやディスラプターが集まり、都市交通の課題を解決し、あらゆる人のモビリティアクセスを改善し、ネットワーク化と自動化の進む世界に備えるための新たなソリューションの開発や実証、立ち上げが進められる見込みです。

「私たちは、人々がより自信を持って運転できるようサポートする優れた運転支援システム『Ford Co-Pilot360』の展開を拡大する機会を常に探っており、自動バレーパーキング技術には大きな期待を寄せています」と、フォード・モーター・カンパニーの最高技術責任者である Ken Washington 氏は語っています。「ボッシュとベッドロックとの協業は、周囲の状況をよりよく認識しながらも、少ない車載コンピューティングによりデザインやパッケージング、価格設定に寄与する高度な自動運転車両など、将来に向けた私たちのビジョンにも合致しています。」

デモンストレーションは、不動産デベロッパーのベッドロックがコークタウン地区で手がけた初めての住居再開発プロジェクト「アセンブリー・ガレージ」の1階で行われます。このプロジェクトは、新しい建物や歴史的な建物と駐車やモビリティに関する最新技術を組み合わせるといふベッドロックのビジョンを体現しています。同社は他にも、「フリー・プレス・ビルディング」の1階部分の搬入口から入った車両を自動で地階に駐車し、返却も自動で行うという、最近設置された米国中西部初の自動駐車場も手掛けています。

「私たちは、デトロイトにおいて駐車とモビリティの取り組みの最前線に立てるよう努めています。なぜなら、私たちは不動産とモビリティをつなぐ重要性を認識しているからです」と、ベッドロックの最高情報責任者である Heather Wilberger 氏は述べています。「このソリューションは、駐車時間を大幅に短縮するだけではありません。デトロイトに自動駐車をもたらし、我々のテナントや来訪者、近隣住民や居住者に究極の利便性をもたらす最初のステップであると捉えています。」

自動バレーパーキング技術は、「アセンブリー・ガレージ」のテナントおよびプライベートデモ向けに、9月末まで実演される予定です。

コネクテッドカーとスマートインフラが自動駐車を強化

フォードのネットワーク化されたテスト車両は、高度に自動化された方法で、ポッシュのインテリジェントな駐車インフラとの車両対インフラ(V2I)通信を行います。インフラのセンサーは、車両を認識し、その位置を特定して、歩行者やその他の危険回避を含め、車両の駐車動作を誘導します。インフラが車両の経路上に何かを感知した場合、インフラは直ちに車両を停止します。

「ポッシュは、自動バレーパーキングにより、モビリティとビルディングテクノロジーという2つの事業領域をまたいだ当社の豊富な経験を結集し、日常生活を向上させるスマートなインフラソリューションを提供します」と、ポッシュ北米社長のマイク・マンズエッティは述べています。「このテクノロジーにより、車両がガレージでの駐車などを引き受けることとなり、消費者は高度自動化技術のメリットを目の当たりにするでしょう。」

ガレージに到着すると、ドライバーは指定されたエリアに車両を止め、スマートフォンアプリを使用して車両の自動駐車動作を開始します。また、アプリを使用して、指定された引き取りエリアに車両を戻すよう指示することもできます。これにより、駐車操作に必要な時間が短縮され、ガレージで車両を探す手間からも解放されます。

新たなモビリティには協働が必要

「アセンブリー・ガレージ」でのデモンストレーションプロジェクトでは、世界有数の自動車メーカーであるフォードと、デトロイト市最大の不動産デベロッパーのベッドロック、そして世界最大の自動車部品サプライヤーであるポッシュの3社が、新たなモビリティへの取り組みに組織がどのように協働できるかを示します。

このプロジェクトによって3社は、ユーザーエクスペリエンス、車両仕様、駐車構造の設計、アプリケーションに関する貴重な知見を獲得し、テクノロジーとその用途を拡大することができます。

空間の有効活用と車両サービスが利点

自動駐車ソリューションは駐車場の所有者に、駐車場内の空間をより有効に活用できるという利点をもたらします。自動バレーパーキングにより、同じ広さのスペースに駐車できる車両台数が最大20%増加します。このソリューションは、「アセンブリー・ガレージ」の事例のように後付けでの展開が可能なほか、新たな駐車場を建設する際にあらかじめインフラを組み込んだ設計を行うことで収容能力の最大化を図ることもできます。

駐車以外にも、充電や洗車など特定のサービスを受けるために車両みずからガレージ内のエリアへ走行することも可能です。デモンストレーションプロジェクトの期間中、フォード、ベッドロック、ボッシュは、ユーザーがガレージから車両を呼び戻すまでに、車両が特定のサービスエリアを経て最終的に駐車するまでの間、どのように移動するかを実演します。

報道用画像: 3247163、3247164、3247165、3247166

報道関係対応窓口:

フォード - Wes Sherwood

電話: 313-845-4794

wsherwoo@ford.com

ボッシュ - Tim Wieland

電話: 248-876-0288

Tim.Wieland@us.bosch.com

ベッドロック - Tom Goulding

電話: 313-549-9348

tomgoulding@bedrockdetroit.com

フォード・モーターについて

フォード・モーターは米国ミシガン州ディアボーンに拠点を置く世界的企業で、フォードの幅広い種類の乗用車、トラック、SUV、電気自動車、および高級乗用車リンカーンの設計、製造、販売および修理を行っており、またフォード・モーター・クレジットを通じて金融サービスを提供しています。また電動化、自動運転サービスを含むモビリティソリューション、およびネットワーク化サービスの各分野で先導的地位を確立することを目指しています。フォードは全世界で約18万8,000人の従業員を雇用しています。フォード、フォードの製品、フォード・モーター・クレジットに関する詳しい情報は、www.corporate.ford.com をご覧ください。

ボッシュ(北米)について

1906年に北米に現地法人を設立して以来、ボッシュ・グループは北米に100以上の拠点、約3万4,600人の従業員を擁しています(2019年12月31日現在)。2019年、米国、カナダ、メキシコにおけるボッシュの連結売上高は144億ドルに達しています。詳しくは、www.bosch.us、www.bosch.ca および www.bosch.mx をご覧ください。

*2019年の為替平均レート、1ユーロ=1.1027ドルで計算

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019年の従業員数は約40万人(2019年12月31日現在)、売上高は777億ユーロ(約9.5兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界126の拠点で約7万2,600人の従業員が研究開発に、約3万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ベッドロックについて

デトロイトを拠点とするベッドロックは、商業用および居住用建物の取得、開発、賃貸、融資および管理を専門とするフルサービスの不動産会社です。2011年の設立以来、ベッドロックと関連会社は100件以上の不動産物件の取得と開発に56億ドル以上を投資および出資しており、その中にはデトロイトのダウンタウンとクリーブランドにおける総面積1,800万平方フィートの建物の新たな建設が含まれます。

ベッドロックの手がける不動産は、デトロイトのテクノロジーの中心地ダウンタウンにある210件のオフィステナント用物件、125件の小売およびレストラン用物件で構成され、それらの大半は市場に出回ってから日の浅い物件です。主要な事務所テナントは、Coyote Logistics、IBM、Microsoft、Quicken Loans、LinkedIn、StockX、Universal McCann、UBS、Ally Bankの全米本社およびFifth Third Bankの地域本社などです。主要な小売テナントには、H&M、Plum Market、The Lip Bar、6 Salon、Lululemon、Shake Shack、その他多数が含まれます。

ベッドロックは現在、Hudson's Site、Monroe Blocks、Book Towerの改修とOne Campus Martiusの拡張を含む4つの変革プロジェクトを手がけています。また、ベッドロックはデトロイトのブラッシュ・パーク地区の共同住宅City Modernの建築も行っています。デトロイトに拠点を置くShinolaと提携し、ベッドロックは2019年初めに世界初のShinola Hotelをウッドワード・アベニューに開設しました。

ベッドロックは、デトロイトの住民のための雇用創出と職業訓練への投資に尽力しています。過去1年間にわたり、同社はランドルフ・キャリア技術センターおよびブライトハウプト・キャリア技術センターに投資し、デトロイトの経済成長のための有能な人材のパイプラインを構築しました。

不動産を通じてユニークな経験を創造することがベッドロックの使命です。これを実現するため、ベッドロックと関連会社は、デトロイトにある重要なパブリックアートやプレイスメイキングの取り組みに継続的な投資を行っています。

ベッドロックのビジネスモデルに関する詳しい情報は、「For More Than Profit」をご覧ください。ベッドロックのプロジェクトに関する詳細な情報は、bedrockdetroit.com をご覧いただくか、またはTwitter およびFacebook をご覧ください。

デトロイトでのベッドロックとロック・ファミリー・オブ・カンパニーズの取り組みをすべて時系列順に見るには、こちらをクリックしてください。